

この手紙と

第2号平成29年5月

まことの保育



子どもたちに寄り添いながら

子どもがあって、教師があり、子どもがあって幼稚園があるとの思いを持ち続けるわたしたちでありたいと思っております。

川は岸のために 流れるのではない
川のために 岸ができるのだ
子どもは教師のために 生まれてきたのではない
子どものために 教師ができたのだ
子ども一人一人の 生き方の流れの
美しさ たくましさ おもしろさを認め
それに沿って 指導の岸を構築してくれる教師に
子どもは 魅力を感じる



平成30年度から本格実施となります新幼稚園教育要領によりますと、一人一人をかけがえのない存在として受け止めて、子どもの目、耳、心をもって共感しながら教育・保育することを、求めています。

徳留安弥常勤教諭

退職いたします



平成28年10月から、約8か月、笑顔いっぱい子どもたちとかかわってくれました。本当に残念ですが5月末をもって本園を退職いたします。

保護者の皆様へ 常勤教諭 徳留安弥

このたび、心に抱いていた夢を実現するために退職することになりました。和光幼稚園の子どもたちのキラキラと輝くとびきりの笑顔が大好きで、園庭で体を

動かしたり、一緒に過ごす日々が本当に心から楽しいと感じていました。

短い間ではありましたが、本当にありがとうございました。

いんこがやってきた



いんこのオス「ぴよちゃん」とメス「ぴこちゃん」が小鳥小屋にやってきました。子どもたちはすっかりおともだちになったようです。

あと一步の踏ん張りで、トンネルを抜け出せる。そこにはきっと、心の成長という「ごほうび」が待っています。(PHP)

ありがとうの5文字

『ありがとう』わずか5文字ですが、なんとやさしく美しい言葉かと思えます。人はけっして一人では生きていけないのですから、自分も他人も感謝で助け合っていけば、とげとげしさも失せ、そこにはやわらかな人間関係が生まれると思えます。何事にもあたりまえと思えば、暗く寂しく殺風景な感じになります。「ありがとう」とまず自分の両手から次のあなたの両手へと花束の一輪ずつでも手渡していけば、それが大きな輪になり幸せの花を咲かせてくれると思うのです。本園の教育・保育も、「ありがとうが言える子ども」をめざす子どもの姿として取り組んでいます。職員も常に感謝の心です。
